

特集

「原則として医療行為外」の行為と介護職

さる3月、千葉県船橋市でパネルディスカッション「介護職と医療・訪問看護職の協同」(介護研究会主催)が開催されました。これは2005年7月、厚生労働省医政局より公表の「原則として医療行為外」とされる行為について介護職自身が知り、在宅療養における医療職と介護職の連携について考えようと企画されたものです。当日のディスカッションをもとに、介護職は「原則として医療行為外」とされる行為をどのように受けとめていくか、医療職との連携のあり方について特集します。

介護職と医療・訪問看護職の連携を願って 川口有美子

「原則として医療行為外」とされる行為を行なうにあたって 安達マツ子

介護職の行なう在宅での医療行為について—訪問看護の立場から 佐藤美穂子

介護職の行なう在宅での医療行為について—医師の立場から 吉野英

家族以外の者による医療的ケアの必要性について 川上純子

障害者自立支援法における介護職の医療的ケアについて 茅根孝雄

厚生労働省医政局通知を受けて、介護職に知ってもらいたいこと 和田忠志

■特別記事

療養通所介護を進める多職種協働—公開セミナーを実施して 当間麻子／篠田道子
訪問看護師による基本的な口腔ケアについて 角保徳

■連載

時間を忘れて 天方晴子／訪問看護時時刻々 石田昌宏／もの忘れを補うモノたち—簡単な道具と機器を利用した認知症患者の日常生活支援 安田清／大牟田発!地域の縁側で認知症ケア 牧坂秀敏／わたしのことをわたしから 長塚麻衣子／在宅で療養するがん患者と家族のためのケアの手引き 福井小紀子／訪問看護のパイオニアたち「遠藤信子さん」 宮田乃有ほか／桜色のハーフコート 赤川次郎

編集
後記

●4月に入社し、今号から弊誌の編集室に加わることになりました。今まで知ることのなかったさまざまな情報に触れることになり、右往左往しています。本号の筆者の先生方には早速ご迷惑をおかけしてしまい、誠に申し訳ありませんでした。お手数おかけいたしますが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。今回の特集は感染管理に関するもので、中でも「手洗い・うがい」に関する例を前田先生・滝内先生・小松先生がわかりやすく紹介してくださっています。どうぞご覧ください。.....富岡
●「手洗い・うがい」の重要性はわかっているのに、いい加減にしていって冬は必ず風邪をひき、今年はインフルエンザA型にも感染しました。特集したからには、今後はこころして「手洗い・うがい」を実行したいと思います。先日は親の代からお世話になっていた方が在宅で療養することになったのですが、ご夫婦そろって「訪問看護師さんに来てもらいたい」と言っていました。これまでは気がつかなかったけれど、「いざ必要となると結構訪問看護ステーションはあるんだね」とも。聞いていてうれしかったです。.....伊藤

訪問看護と介護 第12巻 第6号 2007年6月15日発行(毎月1回15日発行)

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo©2007, Printed in Japan
1部定価1,260円(本体1,200円+税5%) 年ぎめ予約購読料13,200円(年間12冊, 消費税, 送料弊社負担)

発行:株式会社 医学書院/代表者:金原 優/販売部:03-3817-5657/社内案内:03-3817-5600

「訪問看護と介護」編集室:直通03-3817-5787 FAX 03-5804-0485 担当:富岡・伊藤・早田

Eメール houmon@igaku-shoin.co.jp 医学書院ホームページURL http://www.igaku-shoin.co.jp

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

【JCLS】<(株)日本著作出版権管理システム委託出版物>

本紙の無断複写は著作権法上での例外を除き禁止されています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話03-3817-5670, FAX03-3815-8199)の許諾を得てください。本誌掲載論文・記事のタイトル頁最下段に記された「0917-1355/05/¥250/論文【JCLS】」は、1論文1回複写につき250円要することを明示したものです。これは表示のない論文等にも適用されます。JCLSへのご連絡の際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。